

令和2年度東広島市通信利用動向調査結果

《調査の目的》

技術発展の著しい情報通信分野において、本市においても地域情報化・ICT利活用を推進しているところである。しかし利用者視点でスマートフォンやパソコンなどの情報通信利用状況を把握するための調査をこれまで行っていない。従前より、総務省において全国調査が行われており、情報通信白書として報告書が作成されているが、市として地域に即したサービスを展開するためには、より詳細な地域分析を行うためのデータ収集と施策の効果検証が必要であることから今年度下記のとおり調査を実施した。

《調査の概要》

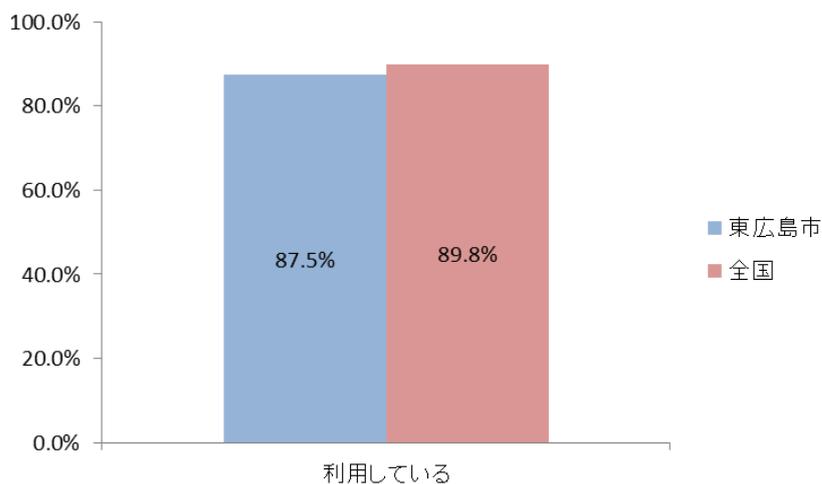
調査時期	令和2年9月・10月
対象地域	東広島市内全域
属性範囲・調査の単位数	18歳以上（令和2年4月1日時点）の男女及びその6歳以上の世帯構成員
調査対象数 [有効送付数]	2,500名 [2,492名]
有効回収数 [率]	1,421件 [57%]
調査事項	インターネットの利用状況等
調査方法	調査票を郵送により送付し、郵送またはオンラインにより回答

- ★東広島市のインターネット利用率は全国的な傾向と同様に50代まではほぼ100%に近いが、70代以上になると全国での利用率に比べてかなり低く、その傾向は女性で顕著に表れている。
- ★インターネットを利用する際のデバイスはその年代でもスマートフォンの利用割合は全国に比べて高く、60代・70代で顕著である。
- ★自宅のインターネット環境は光回線の利用が最も多く、本市の利用割合は全国よりも高い（+15.9%）一方で携帯電話回線（テザリングやポケットWi-Fi等による接続）は全国での利用割合よりも低い（▲16.7%）。

1. インターネット利用の有無

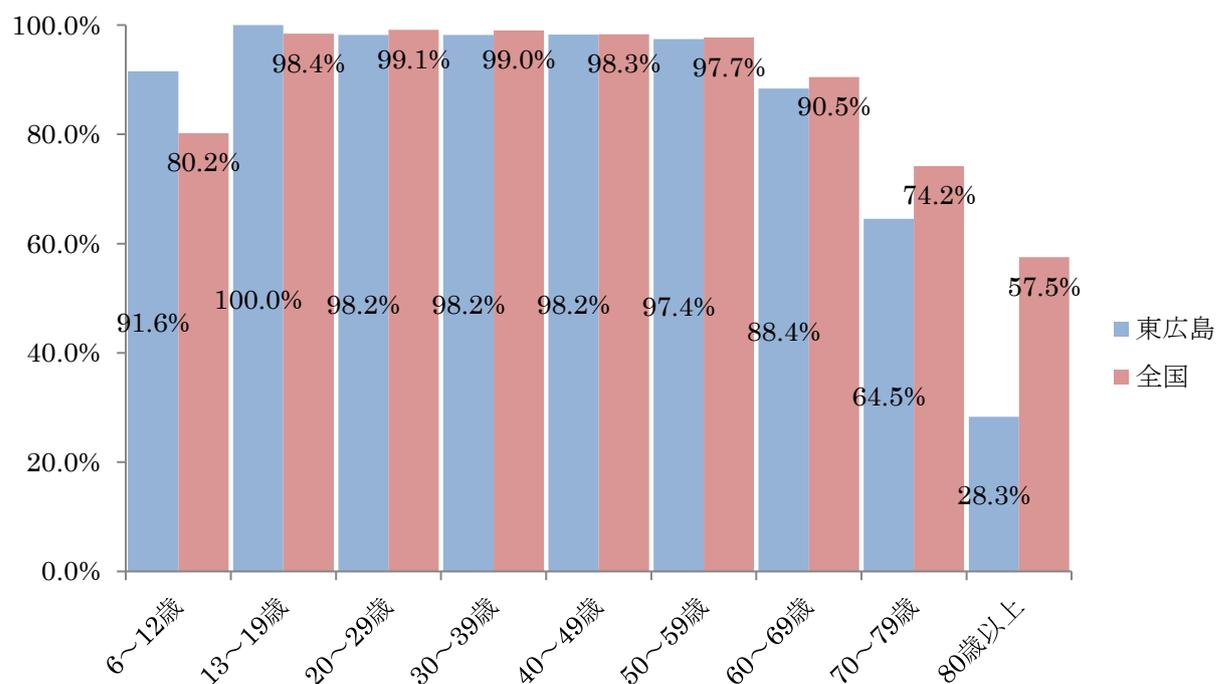
本市のインターネット利用率を総務省が毎年実施している通信利用動向調査（令和元年）の全国値と比較すると、2.3%低い87.5%であった。

【図1-1】 インターネット利用率



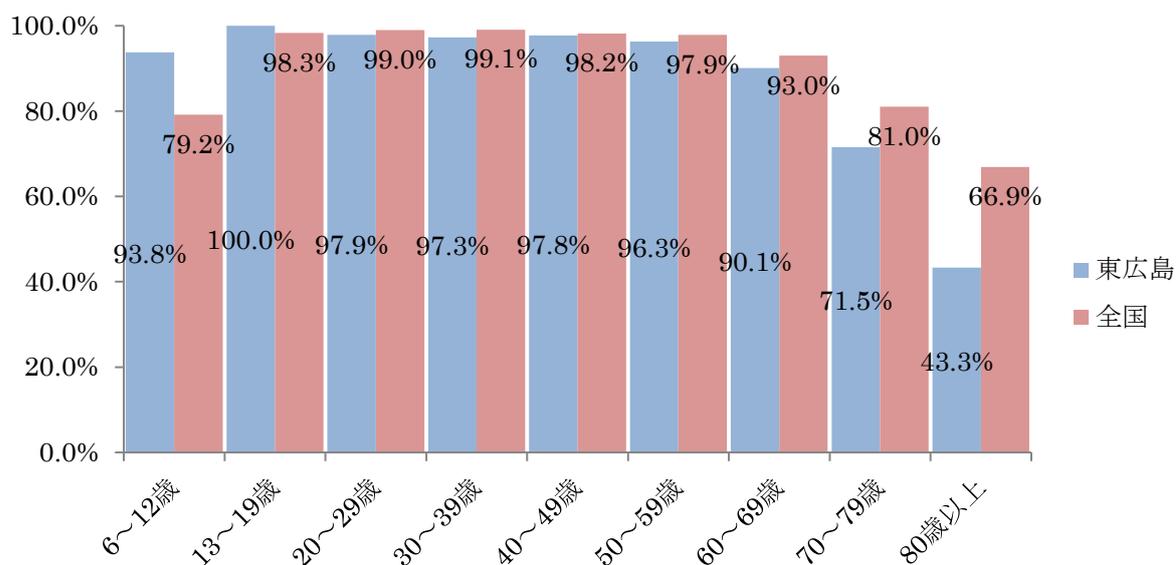
また、年齢階層別に比較すると、6～12歳の利用率が全国の値に比べて11.4%高い一方で、70歳以上の利用率は70～79歳では9.7%、80歳以上では29.2%低い。

【図1-3】 年齢階層別インターネット利用率

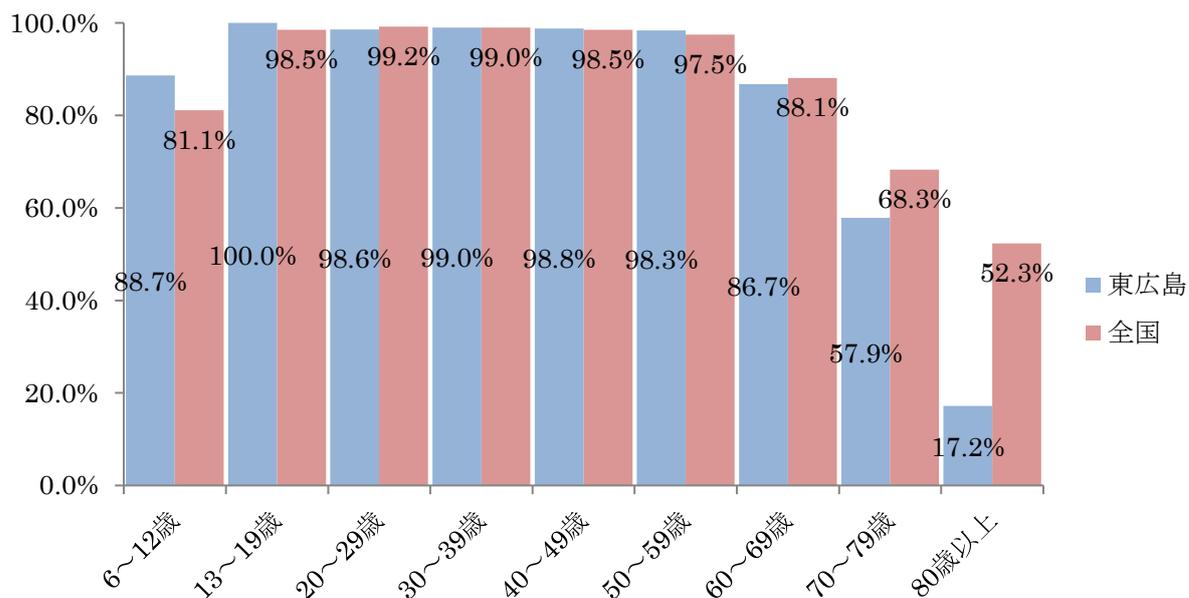


さらに、男女・年齢階層別に比較すると、70～79歳では男女ともに10%前後の差で全体の差と変わらないが、80歳以上の男女では、男性が23.6%低く、女性は35.1%もの差が見られた。

【図1-5】 年齢階層別インターネット利用率（男性）



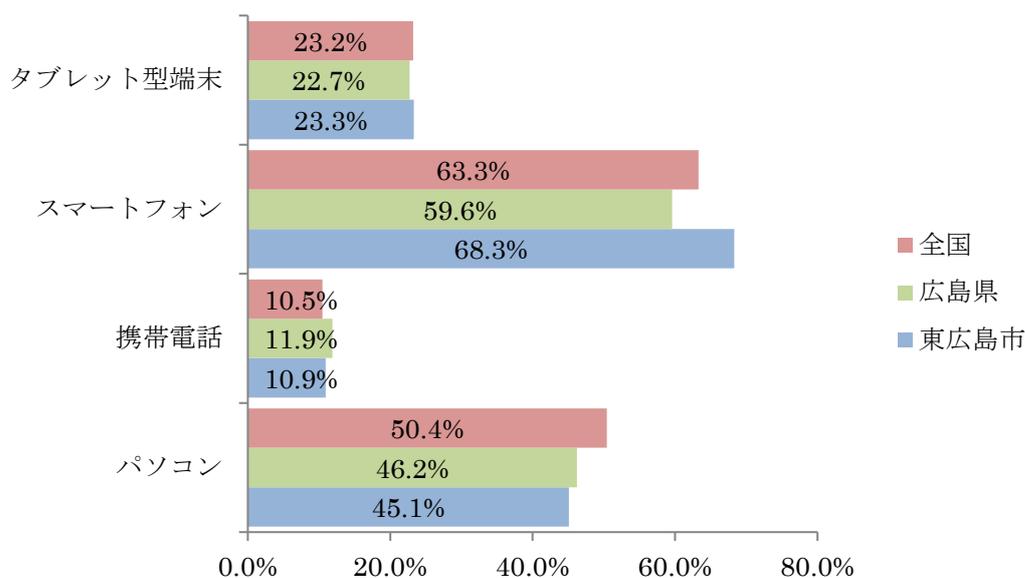
【図1-6】 男女・年齢階層別インターネット利用率（女性）



2. インターネットの端末別利用状況

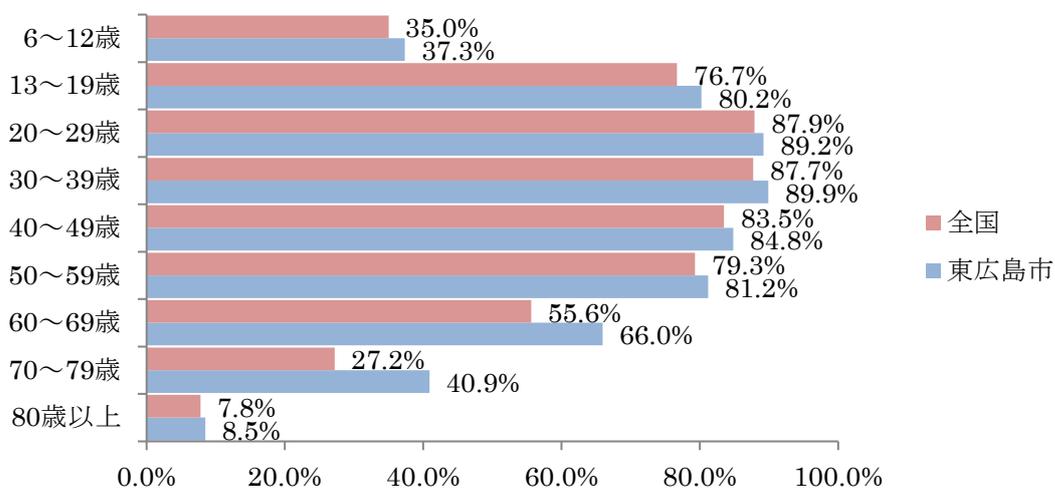
本市の端末別利用状況を全国及び広島県と比較すると、タブレット型端末と携帯電話については全国・広島県と同傾向だが、パソコンの利用率は全国より5.3%低く、広島県全体の数値と同傾向である。また、スマートフォンの利用率は全国よりも5%、広島県よりも8.7%高い。

【図2-1】 インターネットの端末別利用状況

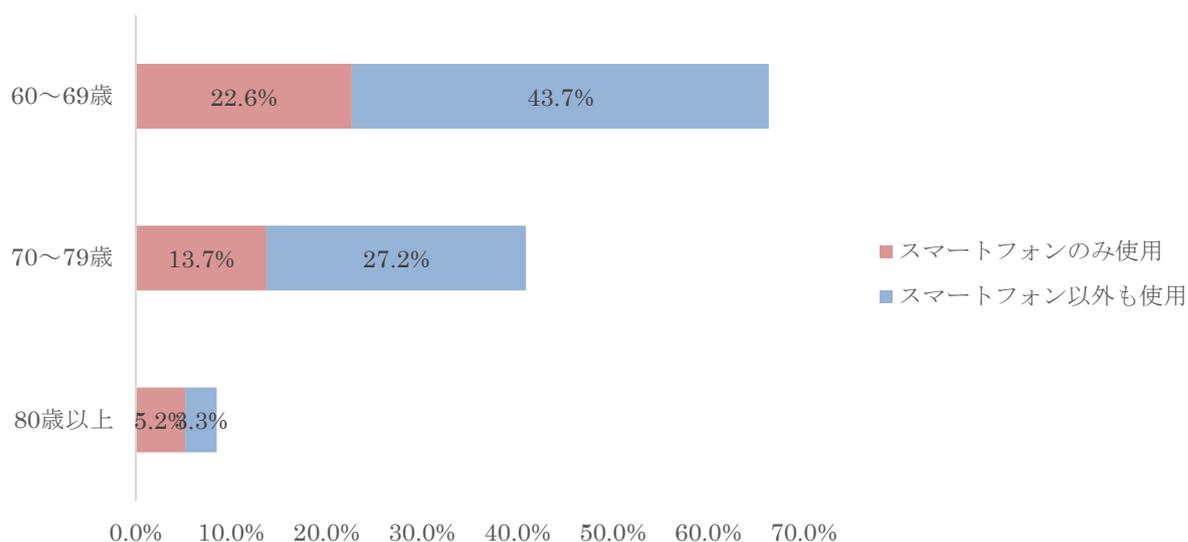


東広島市民のスマートフォンの利用に関して、年齢階層別にそれぞれ全国値と比較を行った。その結果、どの年代も全国値よりも高いが、60代・70代での利用率の高さが顕著であり、その内訳として、スマートフォン以外のデバイスと併せて使用している人の割合が高いことが分かった。

【図2-2】 年齢階層別スマートフォン利用比較



【図 2 - 3】 60 代以上のスマートフォン利用内訳

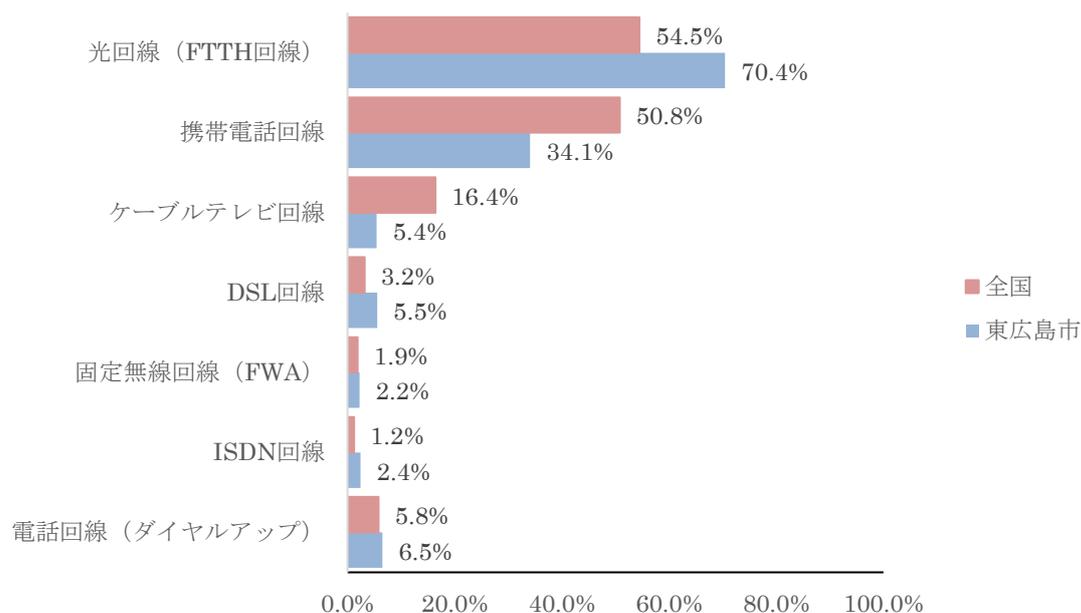


3. 自宅のインターネット利用環境について

まず自宅でインターネットを利用する際に使用する回線（複数回答あり）について、本市全体での光回線利用率は **70.4%**と、全国より **15.9%**上回った。一方で携帯電話回線（※）の利用率については **34.1%**と、全国より **16.7%**下回った。

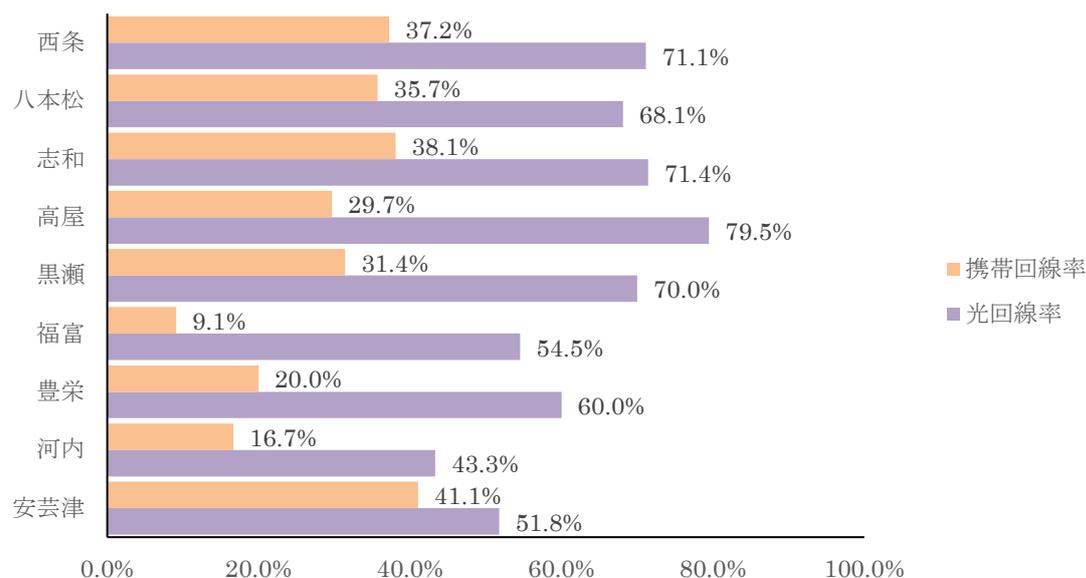
※スマートフォンによるテザリングやポケット Wi-Fi 等による接続を指す。

【図 3 - 1】 自宅のパソコン等からのインターネット接続回線の種類（全体）



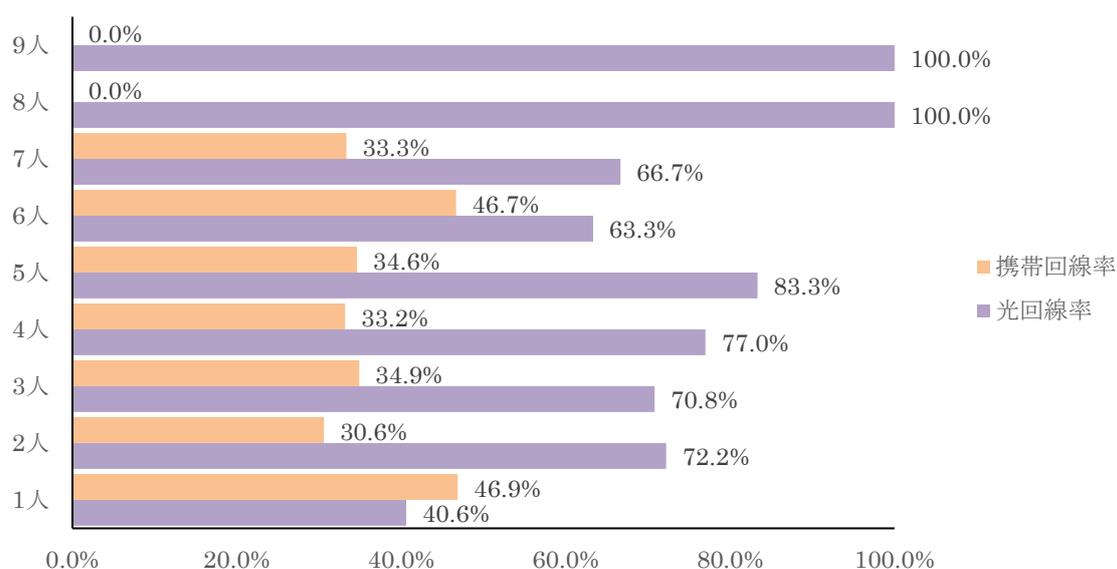
次に、光回線及び携帯電話回線の利用率を地区別に見てみると、光回線は高屋の 79.5% が最も高く、河内の 43.3% が最も低い。携帯電話回線については安芸津の 41.1% が最も高く、福富の 9.1% が最も低い。

【図 3 - 2】 光回線・携帯電話回線利用率（地区別）



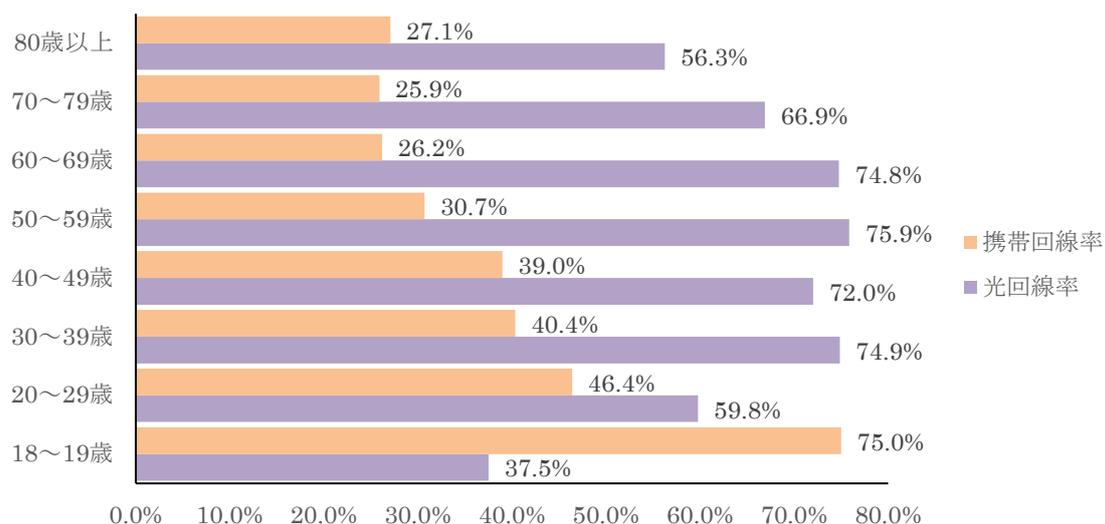
これらを世帯人数別に見てみると、1人世帯では光回線利用率が最も低い一方で携帯電話回線利用率は最も高い。

【図 3 - 3】 光回線・携帯電話回線利用率（世帯人数別）



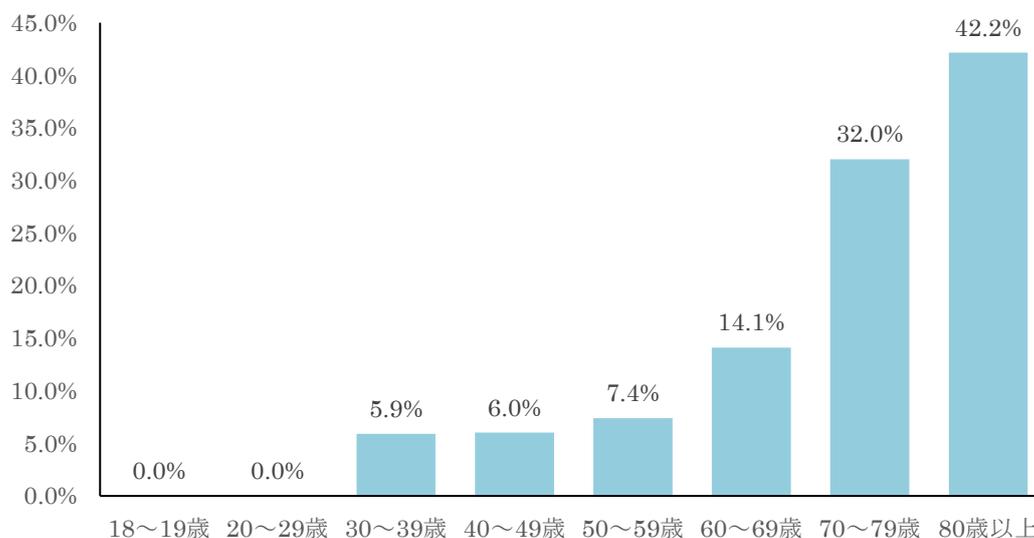
年齢階層別に光回線及び携帯電話回線利用率を見てみると、光回線の利用率は10代20代では低いものの30代～70代では70%前後となる。一方で、携帯電話回線の利用率は、10代を頂点にして年齢が上がるにつれて下がる傾向がある。

【図3-4】 光回線・携帯電話回線利用率（年齢階層別）



また、自宅にインターネット環境のない人について回答者の年齢階層別でみると、年齢が上がるにつれて自宅にインターネット環境のない人の割合は増える。傾向としては、70代・80代以上でインターネット利用をしない人が多い点で【図1-3】と同様である。ただし、30代～50代については自宅にインターネット環境はないものの、職場等の自宅以外でインターネットを利用している人が一定数いるということがわかる。

【図3-5】 自宅にインターネット環境のない人の割合（年齢階層別）



また、自宅にインターネット環境がない人の割合について地区別に見てみると、安芸津・豊栄・河内でその割合が大きいことがわかる。ただし、地域ごとに年代のばらつきがあるため、継続して詳細な分析を行うこととする。

【図3-6】 自宅にインターネット環境のない人の割合（地区別）

